

プロスポーツで地域が元気になる



講師 村山 哲二氏 (ムラヤマ テツジ)

株式会社ジャパン・ベースボール・マーケティング 代表取締役
(プロ野球独立リーグ・ルートインBCリーグ代表)

日時：10月23日(水) 18:00～19:30

講演会出席者数：76名 内訳：教職員12名、学生・院生28名、高校教員／他校2名、年間会員6名、一般28名

講師略歴

駒沢大学法学部法律学科卒業。株式会社電通東日本新潟支社では、サッカー・アルビレックス新潟のプロモーション活動、クラブスポンサーサンクスデーの企画、J1昇格・優勝パレードの企画等を担当し、プロスポーツを通じた地域の活性化を現場で体験する。2006年7月、自らの故郷・新潟の地で、地域活性化

を目的とした野球事業の起業を決意し、株式会社ジャパン・ベースボール・マーケティングを設立、代表取締役とリーグ代表に就任。2007年に4球団で始まったリーグは、2020年、12球団でリーグ戦を行う予定。

講演要旨

1 ルートインBCリーグについて

きょうは野球の話をしに来たのではありません。スポーツを通じていかに地域を元気にするかを語りたいと思います。

まず、ルートインBCリーグは、2007年に4球団でスタートした、国内2例目のプロ野球独立リーグです。

当初は、新潟、長野、富山、石川の4県のチームで、「北信越リーグ」でしたが、翌2008年に群馬と福島が加わり、その後、茨城、栃木、埼玉、福井、滋賀が加わり、現在では11球団、来年から神奈川が加わって12球団になります。

日本野球機構(NPB)と球団の数は同じですが、ビジネスの規模は100分の1です。NPB所属の球団の収入は、読売ジャイアンツと福岡ソフトバンクホークスが300億円を上回ると言われていますが、平均して120億円であるところ、ルートインBCリーグ所属の球団の収入は、平均1億2000万円です。

ルートインBCリーグを立ち上げた私は、新潟県柏崎市の田舎の生まれで、家は、4代続けて教師をしている兼業農家です。

駒沢大学法学部法律学科に進学して、準硬式野球部に入り、高校野球の監督を志しましたが、新潟県の社会科の教員採用試験に落ちてしまいました。

そこで、1988年にBMWに就職し、長岡営業所で9年間、車を売りました。全国ベストディーラー最優秀賞を2回獲得し、1993年には個人で3億5000万円を売り上げました。褒賞旅行(海外)に13回も出かけたりするうち、おもしろくなり、もっと営業の上を目指したいと、1997年に(株)電通東日本の新潟支社に転職しました。

電通では、3年目まで、うだつが上がらない営業社員でしたが、サッカーチームのアルビレックス新潟の担当になって、人生が変わりました。

2 アルビレックス新潟の経験

電通でアルビレックス新潟の担当になった当時、新潟のサッカー界はパラダイムの渦の中にいました。2002年ワールドカップの開催地の一つとなり、スタジアム建設計画がありました。それまでの陸上競技場は13000人収容で、アルビレックス新潟の試合の観客はせいぜい300人程度だったのに、一挙43000人規模のスタジアムを作ることになったのです。

アマチュアチームだったアルビレックスはJ2になるどころでした。サポーターは、300人が、500人になり、700人になり、1000人になり、試合を見に行くたびに盛り上がり、ワクワクしました。気づいたら、自分もサポーターになり、これがスポーツビジネスにのめりこむきっかけでした。

2001年5月に新潟スタジアム（ビッグスワン）ができました。アルビレックス対京都パープルサンガの試合に際し、「ビッグスワンを見に来てください」と12万枚の招待券を配ったところ、36000人が来場しました。

「愛してる新潟」という応援ソングの歌詞を来場者に配り、この歌を歌ってみよう、みんなで言おう、全員で言おうと呼びかけたら、大合唱になりました。サポーター席で感動しました。周りも涙が流れていました。一人では歌えませんが、皆でなら、できるのです。

駒澤大学の野球部では、新潟出身と言うと、農家だろ、日本酒強いだろ、スキーうまいだろ、と言われました。実際自分はたまたまそうだったのですが、新潟のイメージはそれだけなのか、それ以外にもいいところはあるのに、と思っていました。

新潟では、優秀な子はみな東京に行きます。残っているのは、公務員、銀行員、後継くらいで、帰ってくるのは「落ちこぼれ」のイメージがありました。

アルビレックス新潟は2003年にJ1昇格を決めました。優勝パレードの企画も担当しました。アルビレックス新潟を通じて、新潟を愛していることがわかりました。

人口が40万人のエリアで、毎試合4万人がスタジアムに集まるのです。ちなみに浦和レッズの試合には6万人集まりますが、エリアの人口は700万人です。週末の挨拶は「今週アルビ勝ったよね」です。アルビレックスを応援しながら、実は自分自身にエールを送っているのだと思います。プロスポーツが地域を活性化していると現場で体験しました。

それで、なぜこれが新潟にしかないんだ、なぜこれが野球にないんだ、という思いが募りました。

3 BCリーグの立上げと憲章策定

1997年に電通東日本に入社したときは、新潟支社の売上は2億円でしたが、アルビレックス新潟だけで、3億円以上になりました。2004年2月、アルビレックス新潟の池田弘さんという地域スポーツのパイオニアの方から、電通新潟の営業部長だった私に対して、野球リーグのビジネスモデルを考えてくれないかという話がありました。サッカーはJリーグがある、バスケットもBJリーグができた、残るは野球だ、野球の試合を見るには往復2万円かけて東京に行くしかない、何とかしたい、というわけです。

新潟では、その頃NPBの試合の招致が決まり、県立スタジアムを建設することになっていましたが、災害復旧を優先するとのことで、頓挫しました。社会人野球は、都市対抗なので、リーグ戦を行うことができません。

四国では、駒澤大学の先輩の石毛さんが四国アイランドリーグを創設しました。NPBに選手を送り出すことを目的とするリーグです。

それに対し、自分は、野球を通じて地域がもっと元気になるリーグにしたいと思いました。

そこで、2006年3月に電通を退職して、7月に(株)ジャパン・ベースボール・マーケティングを設立し、北信越4球団（新潟、長野、石川、富山）で独立リーグを設立するとの記者会見を行いました。

「地域貢献・地域活性化のための手段としての野球事業」として、40ページくらいの事業計画書を作成し、青年会議所とそのOBを中心に、協力要請をし、4億円を目標にスポンサー

を募ったのです。

実は、記者会見の後で、ある球団の関係者が参加を見送ると言い出し、3球団ではリーグはできません、再度県内150人に支援要請に回ることになりました。

そして、2007年に4球団でBCリーグをスタートしました。

ところが、スタート早々の2008年7月の新潟対群馬の試合で、4番バッターに繰り返しデッドボールを投げたことから、相手チームから報復の暴言があり、それを見ていた地元の野球少年たちが怖いと泣き出すできごとがありました。デーゲームの後で野球教室が予定されていたのですが、リトルリーグの監督たちから、あなたたちは詐欺師だ、地域の子どもたちに本物の野球のすばらしさを伝えたいなどと言いながら、このようなものを見せるのは子どもにとって害でしかない、と言われて、キャンセルされてしまいました。

BCリーグの立上げの際、協力要請を何百件断られてもめげたことはありませんでしたが、このときはめげました。そして、何が悪いのか、6球団の社長たちと6か月考えました。

そして、「全部、自分が悪い」と考えるに至り、どうしたらいいか、BCリーグの株主で、取締役でもある(株)ハードオフコーポレーションの代表取締役社長の山本さんに相談しました。

山本さんは、ハードオフには4つの理念（社会のためになるか、お客様のためになるか、社員・スタッフのためになるか、会社のためになるか）があり、決断の基準としている、BCリーグの理念は何か、と言うのです。ありませんでした。

そこで、BCリーグの憲章を決めることとしました。

BCL憲章は「地域と、地域の子供たちのために」という副題で、次のようなものです。

BCリーグは、地域の子供たちを、地域とともに育てることが使命である。

BCリーグは、常に全力のプレーを行う事により、地域と、地域の子供たちに夢を与える。

BCリーグは、常にフェアプレーを行う事により、地域と、地域の子供たちに夢を与える。

BCリーグは、野球場の内外を問わず、地域と、地域の子供たちの規範となる。

すべてのステークホルダーにこれを誓い、すべての試合で、必ずこの憲章を唱えます。

これがなかったら、13年間もできなかったと思います。

4 MIKITO AED PROJECT

BCリーグが行っているAED普及活動が、2009年、第1回地域・スポーツ振興賞最優秀賞を受賞しました。

2006年7月9日、一人の野球少年が試合の前に倒れ、心不全で亡くなりました。水島樹人（みきと）君と言います。葬儀の日の読売新聞に、私が独立リーグ設立構想を語っている記者会見の記事が掲載されており、それを読んだお母さんが、私にはがきをくれました。樹人君は、なんで新潟にプロ野球がないんだろうね、と話していたのだそうです。

BCリーグがスタートした年の2007年7月7日、糸魚川美山球場で、追悼試合を行いました。新潟アルビレックスBCは、11連敗中でしたが、石川ミリオンスターズに6対5で勝利しました。

毎年7月に追悼試合を行っています。そして、MIKITO AED PROJECTとしてシリコンバンドを1000円で販売し、AEDをこれまで35台購入しました。10000個で1台30万円のAEDが1台買えます。

5 まとめ

NPBのドラフトで指名される選手はスーパースターです。BCリーグの選手は、一度レールを外れ、もう一度目覚めたというストーリーを一人一人持っています。

BCリーグからNPBの球団に移る選手が毎年何人もいますが、彼らは、二軍にいても人気があります。

もう一度挑戦しているというストーリーを地域の人が温かく応援するというのが、BCリーグの魅力だと思います。

一番大切なのは志です。学生の皆さんは、これから本気になれば、何にでもなれます。

私はBMWでどんなに売上を上げても、教え子が年末年始に日替わりで訪れる父親には近づけないと思っていましたが、野球事業で地域社会に貢献できたら、近づけるかもしれないと思っています。

BCリーグでは、いま福井ミラクルエレファントが存続の危機に直面していますが、きっと解決できると信じています。

目標は叶わなくてもいいのです。あきらめなくてはいけないと思ったときには、目標は変えてもいいのです。

一人が一つずつ、君たちにしかできないことを持っています。真剣に人生と向き合うことが大事なのです。

今の私は、電通時代と比べて年収は半分ですが、やりがいは100倍です。社会に貢献できる仕事に取り組めて、満足しています。